



統計スポット情報

NO. 151

20.12.19

福井県総務部政策統計課

— プレママも安心♪福井県 ～育児がしやすいだけじゃない～ —

本県は、「合計特殊出生率が高い（平成19年全国6位）」「3世帯同居世帯割合が高い（平成17年全国2位）」「保育所の入所待機児童ゼロ」などの理由から、育児がしやすい県として全国的に知られています。しかし、育児しやすいだけでなく、プレママ（妊婦）も安心できる出産しやすい県でもあるのです！

どんな安心があるのでしょうか？さっそくみてみましょう。

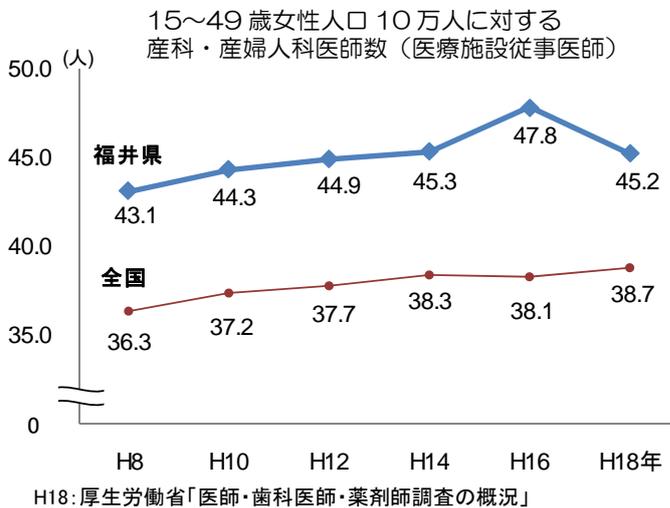
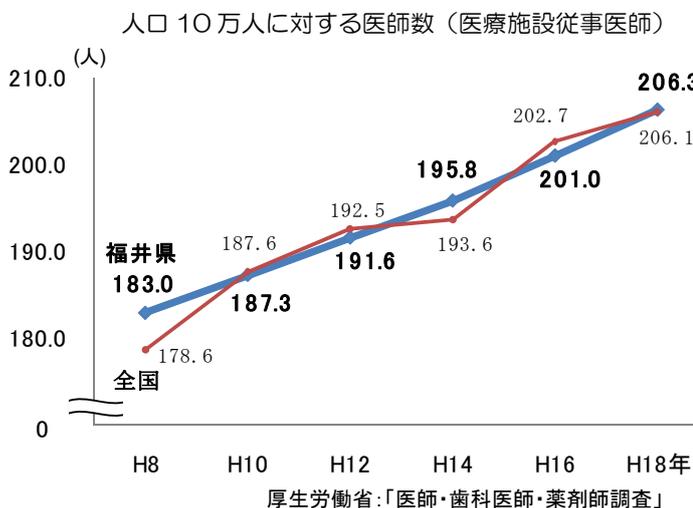


マタニティマーク

☆☆福井県には産婦人科の医師が全国に比べて多い☆☆

福井県の人口10万人に対する医師数は、全国平均とほぼ同じ数になっていますが、15～49歳女性人口10万人に対する産科・産婦人科医師数は、全国平均を大きく上回っています。（全国14位）産科・産婦人科の医師が多いということは、出産を控える人にとって、とても心強いことです。

また、日本産科婦人科学会の調べ（平成18年）によると、産科医師一人あたりの分娩数は、全国平均の141件に比べ、福井県は116件と少なくなっています。



医師数が多い一方で、分娩取扱医療機関数は、平成18年から平成20年までに5施設減少しています。



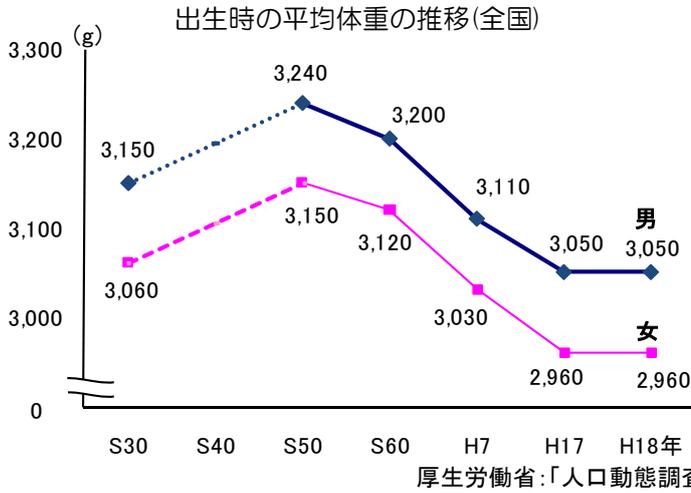
分娩取扱医療機関数

区域	H18.12	H20.3	増減
福井・坂井	16	13	△3
奥越	1	0	△1
丹南	6	5	△1
嶺南	4	4	0
計	27	22	△5

出典：第5次福井県保健医療計画

☆☆福井の赤ちゃんは大きい！！☆☆

全国の出生時の平均体重は、昭和50年頃をピークに減少が続き、最近では、約3,000gとなっています。
福井県の平均体重は平成10年から9年連続で全国1位です。



年次別出生時の平均体重 (g)

	全国	福井県
H9	3,060	3,080 (4位)
H10	3,050	3,080 (1位)
H12	3,030	3,070 (1位)
H14	3,020	3,060 (1位)
H16	3,010	3,050 (1位)
H18	3,010	3,050 (1位)

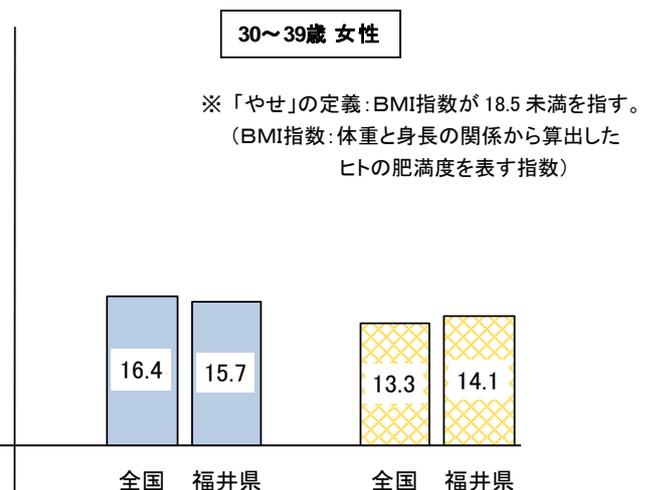
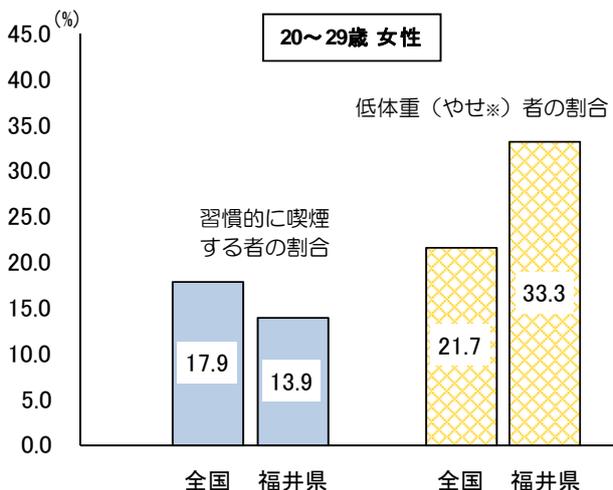
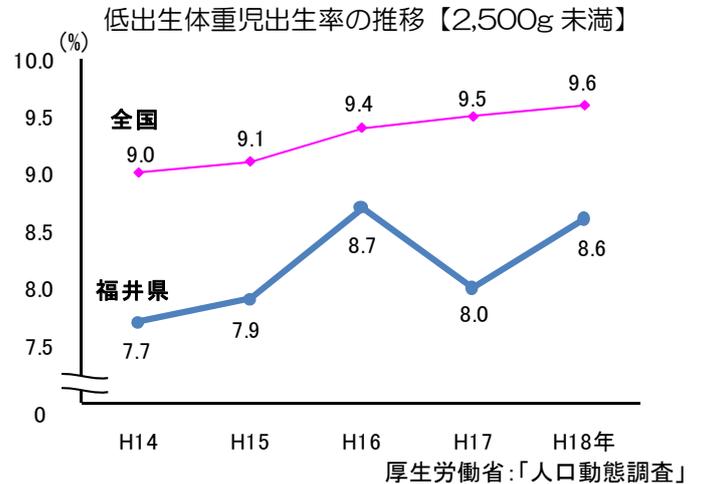
厚生労働省:「人口動態調査」

体重別に詳しくみてみましょう。福井県の赤ちゃんの体重は、全国に比べ3,000g以上の割合が高くなっているものの、本県をはじめ全国的に低出生体重児の出生率は近年、増加傾向にあります。これは、母体となる女性の喫煙ややせ志向等が要因といわれており、最近では妊娠しても引き続きやせ志向の強い人が多いようです。福井県は、全国に比べ喫煙率は低いものの、やせている若い女性が多いようです。元気な赤ちゃんを出産するためにも、気をつけたいですね。

出生時の体重別割合 (平成18年)

出生体重 (g)	男の子 (%)		女の子 (%)	
	全国	福井県	全国	福井県
~2,500	8.5	7.0	10.7	10.3
2,500~3,000	34.7	30.3	41.8	38.9
3,000~3,500	43.5	45.9	38.8	39.9
3,500~	13.3	16.8	8.7	10.9
平均体重	3,050g	3,100g	2,960g	2,990g

厚生労働省「人口動態調査」



※「やせ」の定義: BMI指数が18.5未満を指す。(BMI指数: 体重と身長の関係から算出したヒトの肥満度を表す指数)

全国: 厚生労働省「平成18年国民健康・栄養調査」 福井県: 「平成18年県民健康・栄養調査」

低出生体重児の出生率は増加傾向にありますが、新生児死亡率は全国的に減少傾向にあります。福井県の新生児死亡率は、平成17年から全国平均を下回っています。

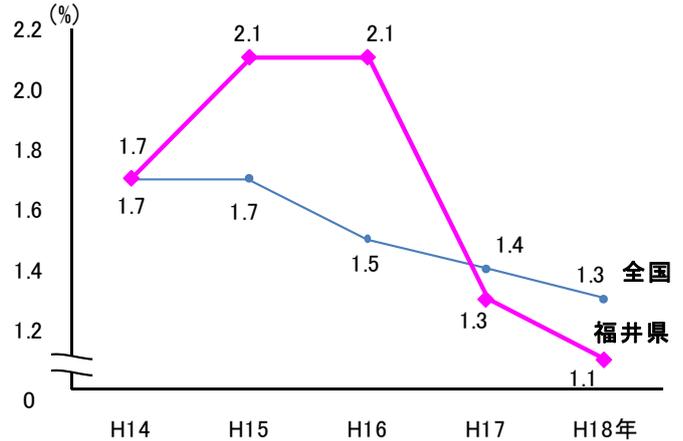
県では、平成16年に、県立病院内に総合周産期母子医療センターを整備するとともに、県内5か所の地域周産期母子医療センター、福井大学医学部附属病院および各分娩取扱医療機関等と連携して、周産期医療体制の安定した運用に努めています。



福井県は
大丈夫♪



新生児【生後4週未満】死亡率（出生千対）



厚生労働省：「人口動態調査」

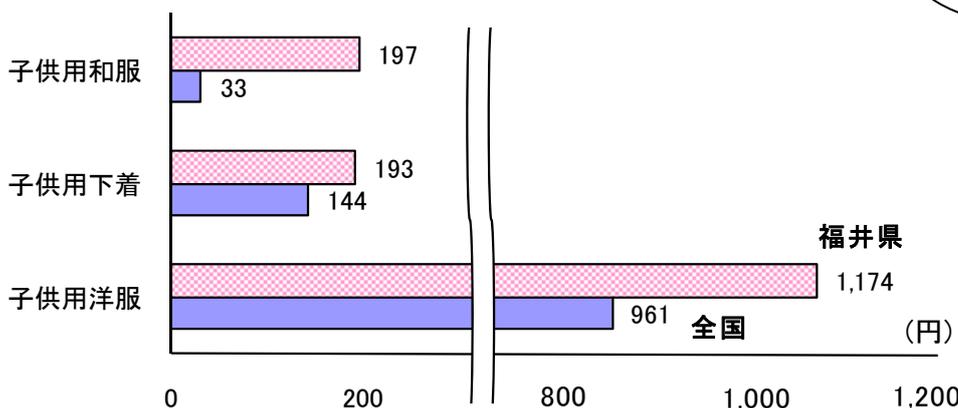
☆☆子供は大事な宝物☆☆

最後に子供に関する支出についてみてみたいと思います。

わが子や孫の誕生はとても嬉しく、そしてとてもかわいいものです。福井県においては、そんな子供にかかる費用も全国に比べ高く、「子供用の洋服」は全国の約1.2倍で全国4位、「子供用の下着」は全国の約1.3倍で全国3位となっています。特に「子供用の和服」は全国の約6倍で全国4位となっています。

「子供用の和服」といえば、お宮参りや七五三。おじいちゃんおばあちゃんがかわいい孫のために、用意してくれているのでしょうか。

1世帯1ヶ月あたりの支出金額（二人以上の世帯）

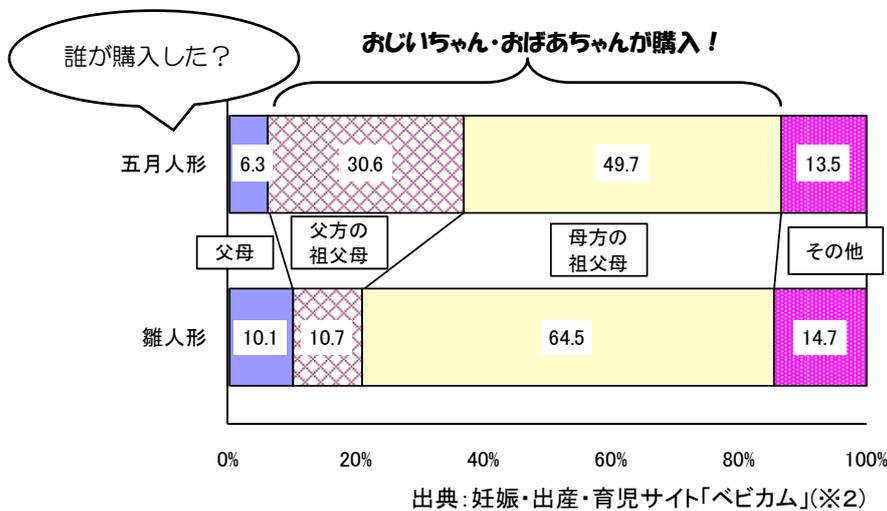


総務省統計局：「平成16年全国消費実態調査」

おじいちゃんおばあちゃん
ありがとう



また、妊娠・出産・育児サイト「ベビカム」の全国調査(※1)によると、おじいちゃんおばあちゃんからもらったことがあるプレゼントは、1位「子供用の服(94%)」、2位「おもちゃ(84%)」、3位「五月人形やひな人形など節句関連のもの(59%)」となっています。ここで、3位の節句に関連するものについて詳しくみてみましょう。



五月人形を購入したのは、おじいちゃんおばあちゃんが81%(父方の祖父母 31%、母方の祖父母 50%)となっています。

また、雛人形を購入したのは、おじいちゃんおばあちゃんが75%(父方の祖父母 11%、母方の祖父母 64%)となっています。



※1 H20年3月「VOL.33 おじいちゃん・おばあちゃんからのプレゼント」サンプル数 1164
 ※2 H19年12月「VOL.26 ひな祭りに端午の節句、お祝いどうする？」サンプル数 1061

子供の成長とともに、いくつもの成長を祝うイベントがあります。どんなイベントがあってどんな意味があるのか・・・。みなさんはいくつ知っていますか？

- お宮参り・・・ 一般的には、生後31～33日目。その土地の守り神である産土神(うぶすながみ)に赤ちゃんの誕生を報告し、無事に生まれた感謝と健やかな成長を願う行事です。
- お食い初め・・・ 生後100日目。子供が一生食べ物に困らないように願うと同時に、歯が生えるほど成長したことを喜ぶという行事です。
- 初節句・・・ 生後初めての節句のことで、男の子は5月5日(端午の節句)、女の子は3月3日(上巳の節句)です。赤ちゃんの無事な成長を祝い、今後の健やかな成長と厄除けを願う行事です。
- 一升餅・・・ お子様の満1歳のお誕生日に、1歳まで無事に成長したことと、一生食べるのに困らないように、(誕生餅) 一生円満に過ごせますようにと、これからの健やかな成長を祈るための行事です。

<福井県独特のイベント>

- 孫渡し・・・ もともと孫渡しとは、母の里方で生まれた初児を普通30日で、婚家先へ母親と一緒に届けることを言い、産着を着たままの赤児に、里方の祖母が縫った晴れ着を着せたとのことです。以前は、孫渡しとして、祝い着・肌着・外出着などの衣類に、それらを納める和たんすや洋たんす、テーブル付の食卓やベッドに加えて、孫の玩具等がトラック一杯に積まれて婚家へ贈り届けられていたようですが、今ではさすがにここまでする人は少ないようです。
- 天神講・・・ 福井では、1月25日を「天神講」として、男の子が生まれると、孫渡しとして天神様の掛け軸を贈り、正月から床の間に飾られ、焼きガレイを供えるという風習があります。

